

## 地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

### 企業理念 地域とともに お客さまのために「親切」の心で

この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立ち、全行的取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力、財務健全性の向上に繋げてまいります。

#### 数値目標の進捗状況(ご参考)

取組み項目	数値目標 (平成25年4月～28年3月)	実績 (平成25年4月～27年3月)	進捗率 (%)
創業・新事業支援融資	150件以上	63件	42%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	300件以上	869件	289%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	59回	118%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	融資実行件数 150件以上	融資実行件数 74件	49%
海外進出支援相談件数	30件以上	41件	136%
経営改善支援取組み率 <sup>(注1)</sup>	11%以上	11.2%	102%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	100先以上	111先	111%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率 <sup>(注2)</sup>	10%以上	15.5%	155%
再生計画策定率 <sup>(注3)</sup>	10%以上	26.9%	269%
事業再生に向けた取組み先数 <sup>(注4)</sup>	30先以上	69先	230%
事業承継案件への関与数	100社以上	254先	254%
経営革新等支援機関対応件数	100件以上	100件	100%

(注1)経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)

(注2)経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注3)再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)

(注4)中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

#### 「金融円滑化に向けた取組み」平成26年11月

当行は、金融機能の提供を通じて地域の皆さまのお役に立つことが使命であるとの考えに基づき、従来より地域への円滑な資金供給やお客さまの経営支援等の地域密着型金融に積極的に取組んでまいりました。

「中小企業金融円滑化法」の期限到来後も、引続き地域金融機関としての業務の健全かつ適切な運営の確保に配慮しつつ、お客さまの事業活動の円滑な遂行およびこれを通じた雇用の安定並びに生活の安定を期し、もって地域社会のさらなる発展と地域経済活性化に貢献することを目的として、地域における金融の円滑化に対し、積極的に取組んでまいります。

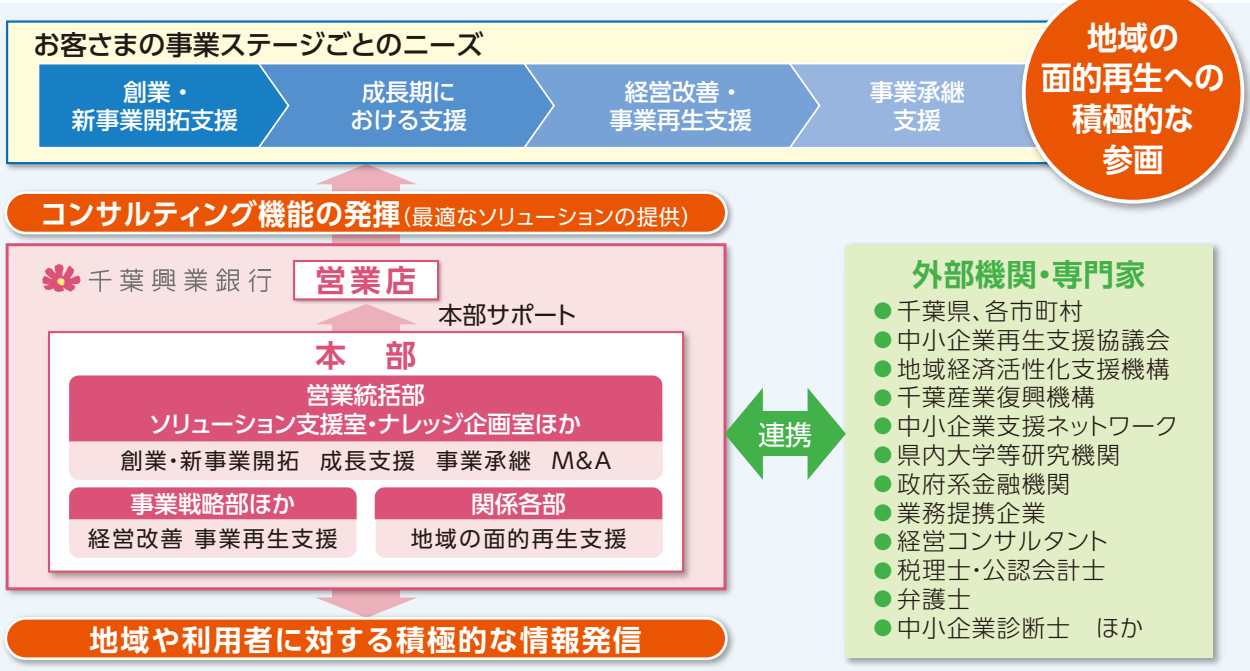
## 中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

### 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

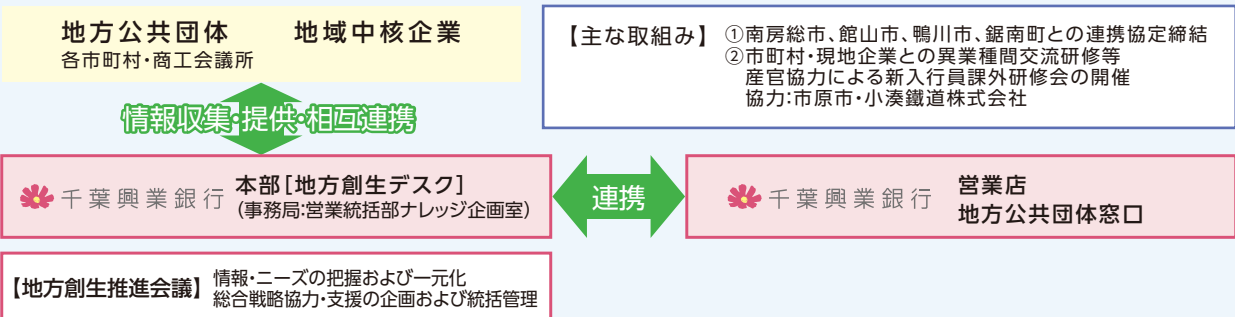
### 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



**「地方創生」への取組み強化** 平成26年11月「まち・ひと・しごと創生法」施行に伴い、当行では地域のさらなる発展に寄与するため、「地方創生」への取組みを充実させてまいります。

#### 【「地方創生」推進に向けた行内体制整備】



## 医療・介護分野への支援

医療・介護事業者の多いエリアの担当店に医療推進リーダー21名を配置したほか、医療系コンサルティング企業や医療分野に強い税理士法人と提携するなど、お取引先に対するコンサルティング機能の発揮に努めております。

医療分野における人材育成にも力を入れており、「医療経営士」の資格取得に積極的に取り組み、県内地銀では初となる「医療経営士1級<sup>(\*)</sup>」合格者1名を含め、63名が有資格者となり、医療事業者の方からのご相談に対応しております。

(\*)「医療経営士1級」とは、医療経営に関する高度な専門知識と実践思考(手法)を有し、理事長・病院長とともに経営幹部として意思決定をサポート、実践できる「医療経営士」の最上位に位置する人材として評価・認定されるものです。

## 海外進出支援

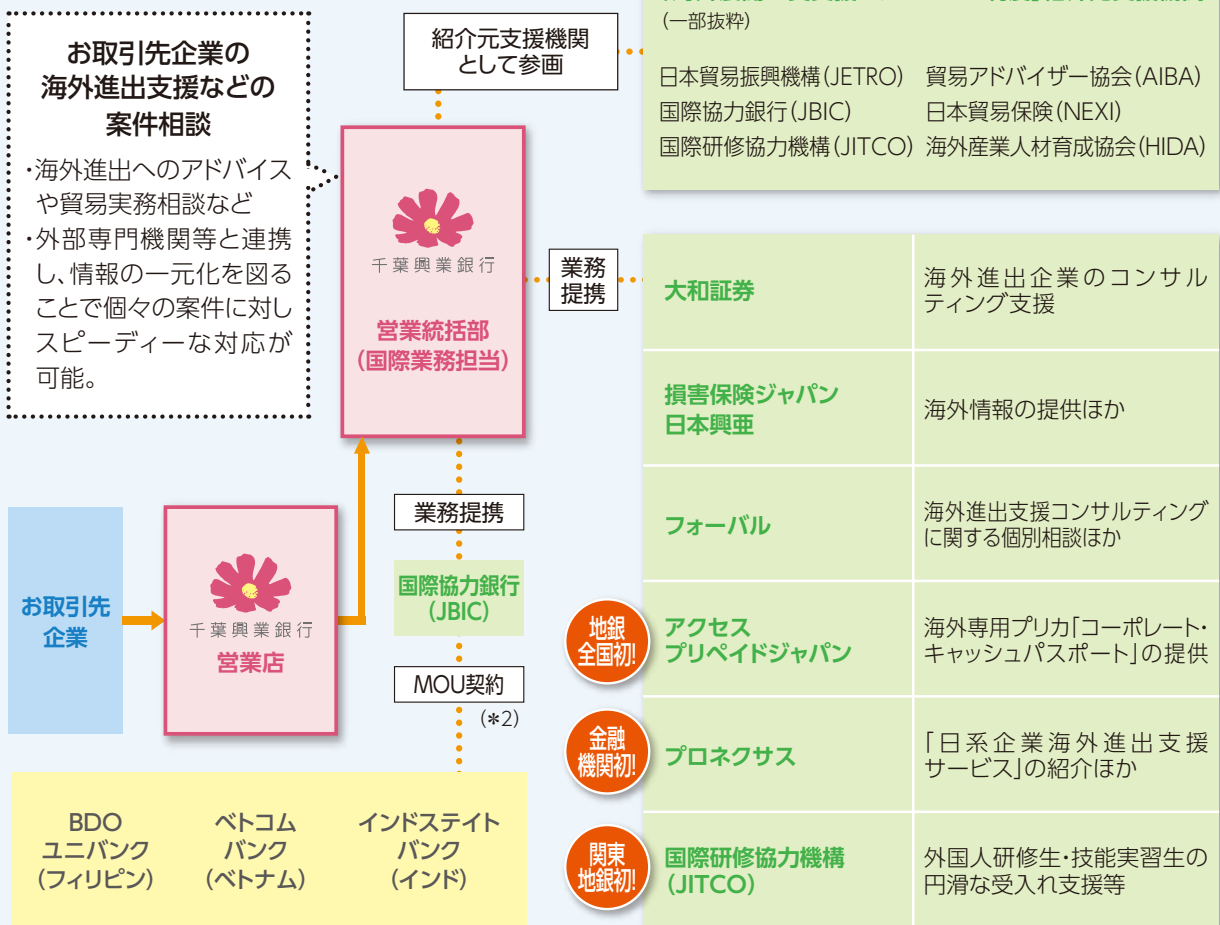
当行では、経済成長著しい東南アジア諸国(ASEAN)への進出や国際化支援を積極的に展開しております。外部機関との連携等により、海外の投資環境に関する情報提供、海外事業展開や販路拡大を検討している企業の皆さまに向けて、専門家やコンサルタントの紹介、ビジネスセミナー等を開催しております。

また、海外事業展開のためのご融資や債務保証などのご相談等にお応えできる体制を構築しております。

### 海外進出サポート体制を拡充!

**お取引先企業の海外進出支援などの案件相談**

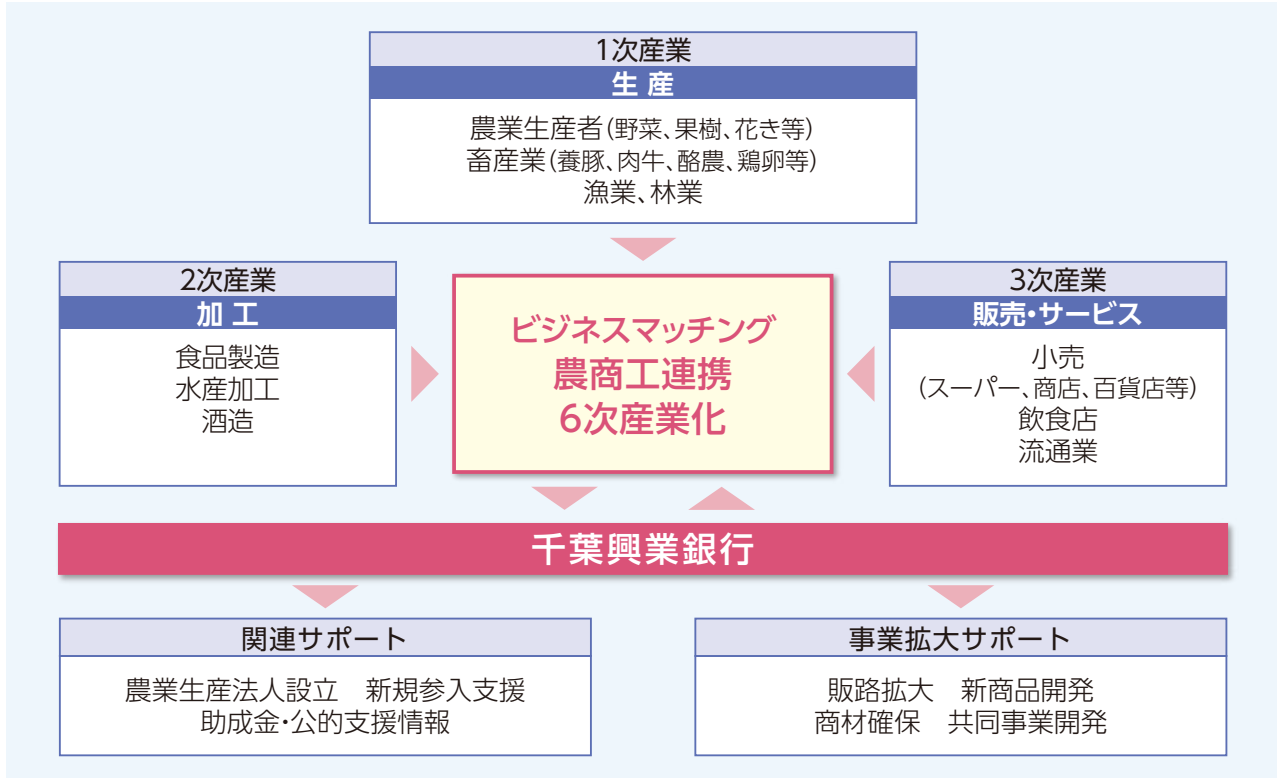
- 海外進出へのアドバイスや貿易実務相談など
- 外部専門機関等と連携し、情報の一元化を図ることで個々の案件に対しスピーディーな対応が可能。



(\*2)「MOU契約」:Memorandum of Understanding(略称:MOU)中堅・中小企業の海外進出支援に関する覚書

## アグリフードビジネスへの支援

千葉県的主要産業である「農業」については専門の担当者を営業統括部に配置し、公的助成を活用した新商品開発や販路開拓のご支援、農業法人の設立支援等、農商工連携によるアグリフードビジネスの活性化に向けた取組みを行っております。



## 事業承継支援

平成26年4月より「事業承継」担当を営業統括部内に配置、県内オーナー企業の事業承継・M&A対策に積極的に取り組んでおります。

また、公益社団法人千葉県産業振興センターとの共催による事業承継セミナーや、専門機関と連携した取組みも行っております。

## 「営業活動の効率性・生産性の向上」に向けた取組み

平成26年4月支店業務部内にBPR推進室を設置しました。当行では、BPR<sup>(\*)</sup>を業務改善の「要」と位置づけ、「千葉興業銀行のスタンダード」として、縦割りの体制から横断的な体制に変え、取引先課・業務課のあらゆる体制や行動の見直し、行員一人ひとりの生産性向上と行動や事務の効率化を実施しました。毎月1回各部のライン長が参加し、BPR推進部会を開催。この1年で寄せられた「声」は108件、解決した事案は28件、検討している事案は37件となり、これらによる事務の見直しや改善・改革による営業体力の捻出は1日当たり「約46名」分と多大な成果を挙げております。

これからも当行はBPRを当行の文化として根付かせ、生産的かつ、効率的な業務運営体制の構築に取組み、さらなる営業体力の捻出と「質」の高い営業活動をめざします。

(\*)3) BPR: ビジネス・プロセス・リエンジニアリング。既存の業務内容や業務フロー等を見直し、再設計(リエンジニアリング)および最適化し、効率や生産性を向上させることを目指す経営コンセプト

## お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組状況)

お取引先企業の事業ステージの見極めと最適なソリューションの提供に努めております。

### 創業・新事業開拓を目指す企業に対する支援

#### 対応方針

- ・公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立ち上げ時の資金需要へ積極的に応えております。
- ・産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

#### 平成25年4月～平成27年3月における取組み実績

- 1次産業と2次産業、3次産業とを結合した6次産業化事業体への投資や育成支援を目的とする『ちば農林漁業6次産業化ファンド』へ出資参加(25年5月)
- 創業・起業をサポートする『創業補助金』制度に関するご相談対応:43件(当行が認定支援機関として支援:23件、外部機関との連携:20件)
- 中小企業庁の中小企業ネットワーク強化事業「ミラサポ」を活用、当行取引先6社に対し専門家派遣を実施(新規事業計画等3件、ものづくり申請支援2件、海外展開支援1件)
- 聖徳大学学園祭に当行取引先を中心に13社が参加し「千産千商2014」を開催。  
約10,000人の来場者があり、当行取引先の商品の対外PRや新商品のマーケティングに寄与(26年11月)

#### 中小企業育成支援

### 千葉元気印企業大賞

平成7年度より、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、新技術、新製品開発、ユニーク経営など、活力溢れる経営で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰することを通じて地域企業の発展を支援しております。



#### 農商工連携・新商品開発・販路開拓支援

### 千産千商2014

松戸市の聖徳大学にて、「がんばろう!千葉おいしい食べもの直売会『千産千商2014』」を開催いたしました。

当行が聖徳大学短期大学部と締結している、産学連携協定に基づく活動のひとつであり、同大学の学園祭にて実施したものです。

聖徳短大の学生と当行お取引先企業が協同で企画・開発した新商品販売のほか、お取引先企業13社が出展し、各社自慢の商品を販売、販路拡大に向けたPRを行いました。



## 成長段階にある企業に対する支援

### 対応方針

- ・ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等、積極的に支援しております。
- ・JETRO等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートを行っております。

### 平成25年4月～平成27年3月における取組み実績

- 中堅・中小企業の海外進出サポート体制を強化するため、フィリピンの大手商業銀行「BDOユニバンク」との業務提携を開始(25年7月)
- ベトナムの大手商業銀行「ベトコムバンク」、インド商業銀行大手「インドステイトバンク」と業務提携(25年12月・26年1月)、中堅・中小企業の海外進出サポートを強化
- 業務提携したフィリピンBDOユニバンクより当行取引先のフィリピン現地法人に対し直接融資を可能とする、スタンバイクレジットを実行、中小企業の資金調達多様化を支援(26年1月)
- 中堅・中小企業の海外進出支援を目的として、経済産業省・外務省による海外展開一貫ファストパス制度へ参加(26年2月)
- 日本政策金融公庫千葉支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、県内企業5社にご融資
- JETRO食品輸出商談会に参加。当行取引先10社が千葉市内ホテルでの海外バイヤーとの商談会に参加(26年3月)
- 中堅・中小企業の海外展開支援の一環として、(株)フォーバル(東証1部)と海外進出コンサルで業務提携。同社の強みであるASEAN4ヵ国(ベトナム、インドネシア、カンボジア、ミャンマー)への進出支援体制を強化(26年5月)
- ベトナム進出を検討している企業への情報提供として、ベトナム・ビジネスセミナーを開催。講師陣には、(株)フォーバル、国際協力銀行、ベトコムバンク、MasterCardグループ アクセスプリペイド社を招聘、45社が参加(26年8月)
- 県内企業の海外販路拡大支援の一環として、ジェトロ主催「ジェトロ食品輸出商談会in千葉2014」に協力し、取引先企業の商談会を誘致(26年8月)
- 業務提携先ベトコムバンクを取引先企業に紹介。ベトナム南部にできる日系商業施設に進出する現地法人に対し、経常口座や従業員給与口座作成を支援(26年8月)
- 中堅・中小企業の海外展開において「ひと」に関する課題へお応えする体制づくりとして国際研修協力機構と業務提携(26年10月)
- 業務提携した国際研修協力機構から講師を招き、外国人技能実習制度に関するセミナーを開催。当行取引先22社が参加(26年12月)
- 日本政策金融公庫横浜支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、タイへの海外直接投資に係るご融資を実施(26年12月)
- 海外進出や事業承継など地元企業の経営課題に対応するため、中小企業基盤整備機構と業務提携・協力に関する覚書を締結(27年1月)
- 取引先企業の円安対策支援の一環として、為替デリバティブ商品を提供する(株)FPG証券と業務提携(27年1月)
- 「ちば興銀経営塾」創設10周年記念事業として、同塾の卒業生を中心に視察団を結成し、ベトナム投資環境調査を実施。当行取引先13社が参加(27年2月)
- 中堅・中小企業の海外展開支援の一環として(株)プロネクサス(東証1部)と海外進出コンサルで業務提携。台湾を中心にアジア各国への進出支援体制を強化(27年3月)

### 海外進出支援

#### 「ベトナム・ビジネスセミナー」開催

海外進出・販路拡大を検討されているお客さまへの情報提供のひとつとして、経済成長著しい注目の“ベトナム”にスポットを当てた「ベトナム・ビジネスセミナー」を開催、多くのお取引先企業にご参加いただきました。



## 海外進出支援

### ベトナム投資環境調査を実施 ～ちば興銀「経営塾」10周年記念事業～

ちば興銀「経営塾」10周年記念事業として、同塾の卒業生13名を中心に総勢16名の視察団を結成し、経済成長著しいベトナムの投資環境調査を実施しました。

首都ハノイでは当行が業務提携するベトナム銀行本店を訪問し、現地の金融事情や同行が提供する金融サービスを調査。ホーチミンでは参加者の関心が高い日系商業施設や工場団地の見学に加え、法人設立や投資ライセンス取得に関する具体的な内容まで調査しました。



### 「外国人技能実習セミナー」開催

公益財団法人国際研修協力機構から講師を招き、海外現地法人の社員育成に非常に有効な手段である技能実習・研修制度のご紹介に加え、外国人従業員に関する労務管理上の留意点や来日している外国人留学生の人材採用についてなど、“国際人材育成”に関する幅広い情報を解説、多くのお取引先企業にご参加いただきました。



## 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

### 対応方針

- ・経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取組んでおります。
- ・経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取組んでおります。

### 平成25年4月～平成27年3月における取組み実績

- 経営改善支援先256先を中心に経営改善支援・事業再生支援へ積極的に取組み
- ・「中小企業再生支援協議会」2次対応決定先:57社
- ・「中小企業再生支援協議会」扱いDDSスキーム実行先:4先
- ・経営改善計画策定先:111先
- ・経営改善支援による債務者区分ランクアップ先:38先
- ・認定支援機関申請先:37先(千葉県36先、東京都1先)
- ・「産業復興機構」「東日本大震災事業者再生支援機構」買取り実施先:6先
- ・経営改善計画策定(行内)研修開催:71名参加

## 事業承継が必要な企業に対する支援

### 対応方針

- ・事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ・必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ・資産の承継以外にも、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

### 平成25年4月～平成27年3月における取組み実績

- 相続関連業務のサポート体制拡充のため、「株式会社山田エスクロー信託」(25年8月)、「株式会社朝日信託」(26年12月)との業務提携を開始
- 次世代経営者の育成支援として『ちば興銀経営塾』を運営(25年5月開講、第5期生30人参加)、中期経営計画策定講座など全15回の講座開催(25年6月～26年9月)
- 業務提携先の日本M&Aセンター仲介により、M&A案件2件成約
- ちば興銀経営塾5期生による台湾視察において、台湾行政院との意見交換や現地企業訪問を実施(26年5月)
- 事業承継解決策のひとつであるM&Aへの取組み強化を目的に、「株式会社AGSコンサルティング」、「株式会社FPG」、「山田ビジネスコンサルティング株式会社」、「山田FAS株式会社」との業務提携を開始
- 千葉県よろず支援拠点(公益財団法人千葉県産業振興センター)との共催セミナーを2回実施
- 事業承継に関する相談:254先(本部サポート実施案件)
- 相続に関する相談:256先(本部サポート実施案件)
- M&Aニーズ対応:180先(本部サポート実施案件)

### 次世代経営者育成支援への取組み

#### ちば興銀「経営塾」の運営

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして平成16年9月に設立されました。幅広い視点での経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的で開催しております。

これまでに200名を超える塾生に学びの場を提供しており、平成27年5月からは第6期生が活動を開始しています。



県内地銀初!

#### 「アクティベーション賞」受賞!

～日本M&Aセンター「第三回バンクオブザイヤー表彰式」～

平成27年6月、M&A業務の提携先である株式会社日本M&Aセンターより、「第三回バンクオブザイヤー表彰式」において、「アクティベーション賞」を受賞いたしました。

「バンクオブザイヤー表彰式」における県内地銀での受賞は当行が初となります。





## 地域の面的再生への積極的な参画 (地域の活性化に関する取組状況)

### 対応方針

- ・「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化に繋がっております。
- ・地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

### 平成25年4月～平成27年3月における取組み実績

- 平成25年9月2日発生の突風等による被災者に対する「災害復旧支援資金『頑張ろう!千葉』」ならびに「災害復旧支援ローン」の取扱い開始(25年9月)
- メガソーラー建設取組み支援・融資実行額4,452百万円(15件)
- 「北海道銀行」と連携した地元物産展を開催
  - ・千葉県の物産販売と観光PR(25年8月、札幌ドーム球場)
  - ・北海道物産展(25年9月、QVCマリンフィールド)
- JR東日本による地域再発見プロジェクト「上野駅地産品ショップ『のもの』」を共催、当行お取引先5社が千葉県物産品等の販売へ参加(25年7月)
- 次世代を担う子どもたちを対象とする金融教育・しごと体験イベント「夏休み体験隊『サマーキッズスクール2014』」を開催、県内小学生27名が参加(26年8月)
- インターンシップの受入れ。県内大学・短大生29名が参加(26年8月)
- 各営業店において職場見学の受入れ(県内小・中学生、高校生42名が来店・見学)
- 千葉県農林水産部と営業統括部ソリューション支援室とのアグリビジネス(農林・畜産・園芸・販路等)に関する勉強会を開催、施策提言を実施(25年9月～26年1月)
- 医療系コンサルティング企業(1社)および医療分野に強い税理士法人(1社)と新たにビジネスマッチング契約を締結、医療経営コンサルティングおよび医療承継への取組みを強化
- 取引先医療法人の相続・事業承継対策として、前理事長である実父から現理事長(息子)への医療法人出資持分贈与について、相続時精算課税制度を活用し、納税資金をファイナンス支援(26年3月)
- 医療・介護事業者の多いエリアの担当店に医療推進リーダー21名設置。コンサルティング機能発揮により、医療・介護関連で33件の新規取引を開始(26年9月)
- REVIC「地域ヘルスケア産業支援ファンド」へ出資。千葉県内のみならず医療・介護・ヘルスケア事業者への支援を強化(26年11月)
- 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を千葉銀行と共同開催、県内高校生48名が参加(26年12月)
- 南房総市と包括連携協定(26年12月)、館山市と包括連携協定(27年2月)、鴨川市・鋸南町と連携協定(27年2月)締結。地域再生・活性化の取組みを積極的に支援。
- 千葉県内の環境変化(高齢化の進展、地域包括ケアシステム対応、医療の提供体制の変化等)を踏まえ、医療経営士試験合格に注力。平成26年度は、医療経営士1級に1名、3級に54名が合格。医療経営士合格者累計63名(27年3月)
- 医療推進リーダー向けに6回の外部講師を招聘しての勉強会を開催し、営業店における基礎知識レベルを向上させ、且つコンサルティング機能発揮により、医療・介護関連で上期は33件、下期は47件の新規取引を開始(27年3月)

### 「チーバくん」を活用した子育て応援事業へ協賛!

子育て支援の一環として、「千葉県安心こども基金」に対し寄付を行いました。当行とメットライフアリコ生命が共同で行う社会貢献活動であり、半年ごとに対象商品の販売件数に対して一定金額を寄付しております。

県内金融機関で初めて「チーバくん」を活用した子育て応援事業への協賛として千葉県から承認を受け、これまでの寄付金は、千葉県庁内の「赤ちゃん休憩室」設置などに活用されております。



地域活性化の取組み

## マーくんバースデーナイト presented by ちば興銀

毎年行っているマッチデーとして、QVCマリンフィールドで「マーくんバースデーナイト」を開催しました。

当行は地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援するとともに、千葉県の活性化に寄与するための活動を行っていきます。



## 夏休み体験隊「サマーキッズスクール2014」開催

県内の小学5・6年生を対象にQVCマリンフィールドにて毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、今回で8回目の開催となります。

千葉商科大学教授、伊藤宏一先生を講師として、「お金ってなに?」をテーマに、お金の意味や使い道などについて学んだ後、当日のマリーンズ戦のプログラムを販売する「しごと」体験により「お金としごと」についての理解を深めていただきました。



## 「エコノミクス甲子園」千葉大会の開催

次世代を担う高校生への金融経済教育の普及を図るため実施している、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の千葉大会(当行と千葉銀行の共催)を開催しました。

県内24チーム48名が参加し、渋谷教育学園幕張高等学校の2年生チームが見事全国大会の切符を手に入れました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)



## 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融推進の取組みについては、さまざまな機会を捉えて積極的な情報開示を行っております。本ディスクロージャー誌とあわせて当行ホームページをご覧ください。

## 女性の活躍に向けた取組み

当行では、女性の活躍促進に向けて、「ポジティブ・アクション」と「ワーク・ライフ・バランス」の取組みを積極的に進めております。

### ポジティブ・アクション

管理職への登用  
職域拡大

(営業店の融資事務・融資渉外業務、本部専門業務等)

### ワーク・ライフ・バランス

行内規程の整備  
復職支援プログラムの運用

(復職支援サイトの利用等による産休・育休中の情報発信、新商品・事務の改正点等の習得支援)